

## <2015 年度修学旅行研究会開催報告>

日 時:2015 年 11 月 18 日(木)

場 所:名古屋市都市センター会議室

発表校:稲沢市立大里東中学校

テーマ:「キャリアにふれる修学旅行」ー東京での活動を通してー

### 【学校のキャリア教育】

取り上げるキャリア教育とは、「勤労観・職業観」を育成と言うより「人間形成」「人生観」の育成という広義の意味でのキャリア教育であり、「基礎的・汎用的能力」の育成を行う。以下の4つの能力によって構成される。

- 人間関係形成・社会形成能力…他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップ等
- 自己理解・管理能力…自己の役割理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等
- 課題対応能力…情報理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追及、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等
- キャリアプランニング能力…学ぶこと、働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等

各領域に関連性をもたせ、3年間を見通して計画・実践することで、「基礎的・汎用的能力」が育成されると考える。

### 【修学旅行の日程】

- 1日目 清洲駅 → 名古屋駅 → 新富士駅 → みどりの休暇村(昼食) → 富士五湖体験学習(洞窟体験・グラススキー・パラグライダー・オルゴール) → 山中湖ペンション
- 2日目 ペンション → 国会議事堂見学 → 東京テーマ別学習 → 東京スカイツリー → ホテル
- 3日目 ホテル → ディズニーランド → 舞浜駅 → 東京駅 → 名古屋駅 → 清洲駅

### 【見学・体験施設】

- ・国語:毎日新聞(一橋)                      ・国語:NHK(渋谷)                      ・社会:国立博物館(上野)
- ・数学:リスピーア(台場)                      ・理科:国立科学博物館(上野)                      ・英語:JICA(市ヶ谷)
- ・技術:ANA(羽田空港内)                      ・体育:日本サッカーミュージアム(お茶の水)

【活動の流れ】「興味関心に基づいたテーマ追究学習」

・事前学習 7時間

事前学習①「テーマを設定しよう」

事前学習②～④「テーマに基づき、調べ学習を進めよう」

事前学習⑤～⑥「中間報告書を作成しよう」 事前学習⑦「見学のポイントを明確にしよう」

・当日の活動

・事後の活動 5時間・・・レポート作成・発表

【参加者からの意見】

- 今回の修学旅行は、キャリア教育の「課題対応能力の育成」「人間関係形成・社会形成能力」の育成を中心に位置づけて活動を進めてきた。小・中学校の連携も大切である。
- 安全性の確保から、教師の目の届く見学・体験施設の数に絞った。
- 行くことが「アクティブ・ラーニング」でなく、事前に学びたいポイントを明確にし、テーマにそってまとめ・振り返りまでの活動を重視した。事前、当日、事後の活動の時間を十分に確保することが難しかった。
- 修学旅行は、その場所でしか味わうことのできない感動や喜び、そこでこそ追究できる学びは何かを明確にして、有意義な活動となるよう今後も研鑽を図っていきたい。

平成 28 年度は、安城市立安祥中学校の事例発表を予定している。

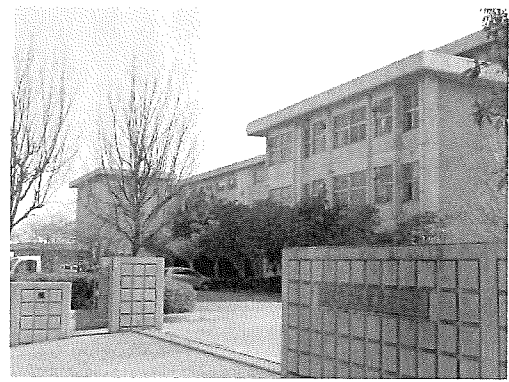
# キャリアにふれる修学旅行 ～東京での活動を通して～

教諭 関谷 知行

### ●学校紹介

本校は、稲沢市の東部に位置し、昭和61年に稲沢市立大里中学校から分離して開校し、今年開校30周年を迎えた。創立以来、「さとく・ゆたかに・たくましく」を校訓とし、生徒一人一人が「自らの判断で、望ましい行動をとる」「仲間と共に自らを鍛えて成長できること」を目指して、学校づくりに務めている。

また、平成24年度、25年度の2年間、稲沢市からICT活用推進事業の研究指定を受け、「学びを確実にする」「学びを広め深める」「豊かな表現力をはぐくむ」ことをねらいとして、ICT機器を積極的に活用した公開授業を行った。



学校外観

### School Data

【創立年】昭和61(1986)年  
【全校生徒数】388名(11クラス)  
【所在地】稲沢市日下部北町3丁目68  
【教育目標】知・徳・体の調和のとれた人間形成を教育目標に掲げている。  
「さとく」(学ぶ楽しさを知り、事理の探究にいそしむ)  
「ゆたかに」(自他の幸せにこそをつかう)  
「たくましく」(生涯にわたる心身の健康づくりに務める)

### 実施要項

- 行き先と時期 山梨県・東京都 平成26年5月19日～5月21日
- 実施学年と引率者数 第3学年4クラス 139名 引率者数9名
- 日程概要

【一日目】5月19日(月)	清洲駅→名古屋駅→新富士駅→みどりの休暇村(昼食)→富士五湖体験学習(洞窟体験・グラススキー・パラグライダー・オルゴール)→山中湖ペンション
【二日目】5月20日(火)	ペンション→国会議事堂見学→東京テーマ別学習→東京スカイツリー→ホテル
【三日目】5月21日(水)	ホテル→ディズニーランド→舞浜駅→東京駅→名古屋駅→清洲駅

## 1 はじめに

本校では、総合的な学習を中心に3年間を通してキャリア教育を推進している。本校でのキャリア教育は、「勤労観・職業観」の育成を含めた「人間形成」「人生観」の育成という広義の意味でのキャリア教育である。すなわち、「基礎的・汎用的能力」の育成を目的として活動に取り組んでいる。「基礎的・汎用的能力」は「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力によって構成される。この4つの能力に関連性をもたせ、3年間を見越して計画・実践することで、「基礎的・汎用的能力」が育成されると考える。

## 2 修学旅行のねらい

キャリア教育における今回の修学旅行の位置づけは、「課題対応能力の育成」と「人間関係形成・社会形成能力」の育成である。そこで、東京では、「東京でしか味わえない学び」「安全の確保」などをコンセプトに、東京での各施設において「テーマ追究学習」を行うこととした。このテーマ追究学習は、教科の学習から興味・関心のある事柄について各自がテーマを設定して事前学習を行い、その事前学習を基に各施設で本物を見たり、触れたりしながら、生徒各自の教養を深める活動である。この活動を通して、課題対応能力

### ●重点を置いた活動

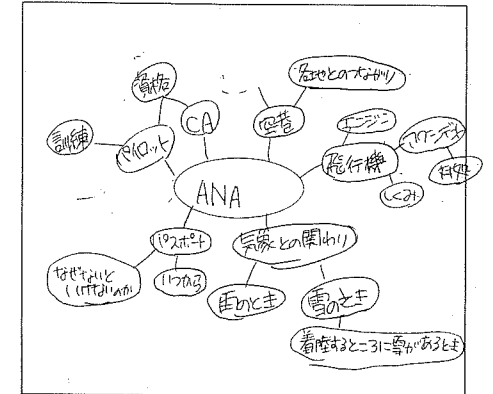
## 興味関心に基づいたテーマ追究学習

## 3 事前の学習

(1) 第1時「テーマを設定しよう」(1時間 特活)  
生徒の希望に沿って見学施設を決めた後、テーマを設定する活動を行った。ウェビングによるイメージからテーマを設定し、調べたい項目・内容についてもテーマに合わせ絞り込んでいった。  
《国立科学博物館を見学する生徒のテーマ設定》  
2年生の頃に磁力について

- の育成を図ることをねらいとしている。見学の体験施設は先にこちらで決めて押さえておく。したがって、テーマについても、見学の体験施設に合わせて設定をするようにした。見学施設は次の通りである。左記に示した見学施設へは、教員が必ず1人は引率し、安全性の確保を図った。
- ・ 国語：毎日新聞(二橋)
  - ・ 国語：NHK(渋谷)
  - ・ 社会：国立博物館(上野)
  - ・ 数学：リスピア(台場)
  - ・ 理科：国立科学博物館(上野)
  - ・ 英語：JICA(市ヶ谷)
  - ・ 技術：ANA(羽田空港内)
  - ・ 体育：日本サッカーミュージアム(お茶の水)

2 自分が行く見学地から連想(イメージ)することを書き出し、ウェビングマップをつくらう。



※写真中の枠内に入っているのは、見学地の名称や施設名であり、例えば、「飛行機」「ANA」「ANAの歴史」など、まずは自分が興味をもったものからスタートしよう。

3 見学地にもとづいて、自分が事前にまたは見学地で調べてみたいことを書きましよう。

- ① 羽田空港と各地のつながり
- ② 飛行機の仕組み
- ③ 機内食の準備
- ④ 飛行機シミュレーターがなぜ必要なのか
- ⑤ 飛行機がなぜ飛ぶのか

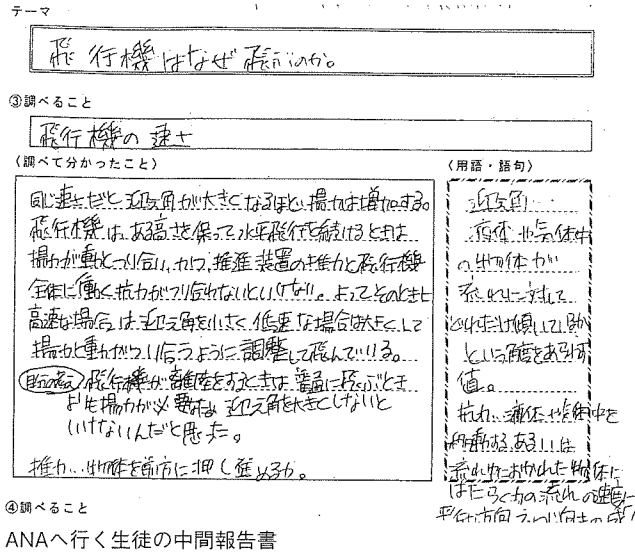
追究学習導入のウェビング

学びました。たくさん先生の授業で学びましたが、学ばば学ばほどより磁石に興味をもつようになりました。そして、修学旅行で国立科学博物館に行くことができると聞いてチャンスだと思い、この機会にぜひ磁力について授業では習っていない所を学ぼうと思ったのが、テーマ設定の理由です。

(2) 第2～4時「テーマに基づき、調べ学習を進めよう」(3時間 総合)  
情報収集の中心はインターネットである。まずは、各自が行く見学施設について調べることから始め、見学施設においてどのような見学や体験ができるのか、どのようなことが調べられるのかを把握し、第1時で考えた調べたい項目・内容について、情報の収集・選択・理解・処理を行った。

(3) 第5〜6時「中間報告書を作成しよう」  
(2時間 特活1、総合1)

これまでの事前学習を基に、中間報告書を作成した。中間報告書の作成は、これまで調べた内容を精査することがねらいである。また、事後に行うレポート作成にも活用できることをねらいとしている。中間報告書の作成にあたっては、設定したテーマと、調べた内容に整合性があるのかを意識させて、まとめさせた。



ANAへ行く生徒の中間報告書

(4) 第7時「見学のポイントを明確にしよう」(1時間 行事)

見学や体験は限られた時間であるので、事前学習から見るべきポイントを整理し、視点

た。このような科学者や研究者の努力があるからこそ、今私たちは理科の勉強ができているのだということにありがたみを感じました。

「JICA」…JICA地球広場では、世界が直面する多くの課題について展示を通して学んだ。自分で決めた学習テーマに関する展示だけにとどまらず、途上国の現状や、世界と私たちのつながりを考えさせる展示には、どの生徒も興味をもち、熱心に内容をメモする姿が見られた。どの生徒も、途上国の人々が安心して生活できるようにするためには何が必要なのか、私たちに何ができるのかを学ぶことができた。

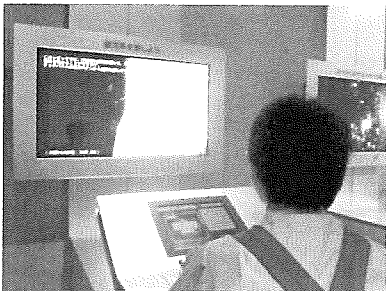
《生徒の感想》事前にJICAを調べたときには、よく分からないことが多かったけれど、実際に行って展示物などを見ると、事前に調べていたことがどういうことだったのかよく分かりました。自分が調べていた医療のことや貧困のことについて知らなかったことも詳しく分かり、今の世界の現状について知ることができました。自分が驚いたことは、世界の国の人たちはたくさん病気に罹っており、病気で死亡している人が多いということでした。また、国によっては病気の原因が違うことも分かりました。

「ANA」…ANAの見学では、まず最新の機体の紹介や、工場、仕事の内容についての話を聞いた。その後の機体工場では、間近で機体を見ることができ、その大きさに生徒は驚いていた。整備に関しては、シビアな環境で働く苦労を感じることもできる話を聞く

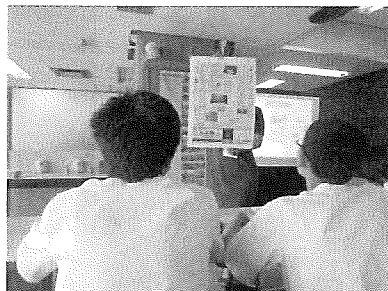
を明確にさせる活動を行った。国立博物館の見学に行く生徒は、仏像をテーマとし、各時代のつくりの違いや表情、手の形について事前に調べた。その調べたことをもとに、見学の計画を立てた。

4 当日の活動

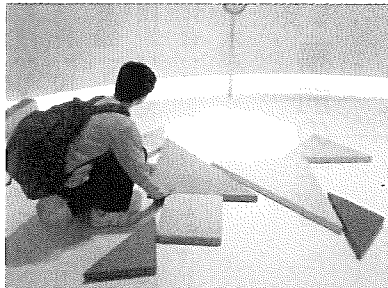
「NHK」…「ニュース番組がどのように作られているのか」という生徒の質問に対し担当して頂いた方が実際に作られた映像を見



国立科学博物館での学習



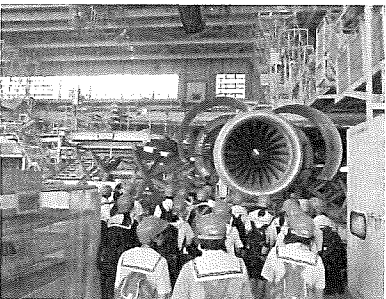
新聞社での学習



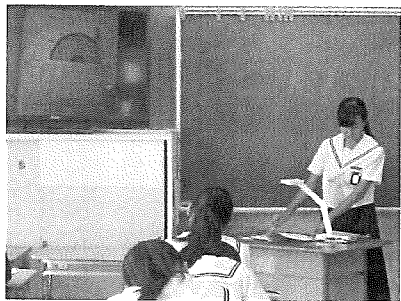
リスーピアでの体験学習



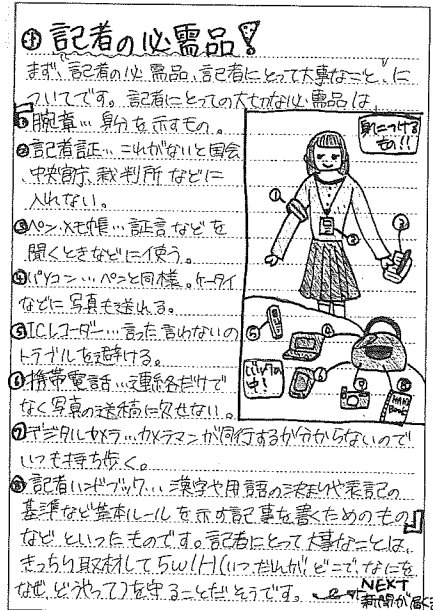
JICAでの学習



機体工場の見学



代表生徒の発表



新聞社で学習をした生徒のレポート

《生徒の感想》整備は毎日、毎日、大変なことが伝わってきて、整備士の方たちのおかげで安全に飛行機に乗れることに感謝の気持ちがかみ上げてきました。整備士には、体力と根性があるなど強く感じさせられました。また、私の夢の1つであるグランドスタッフも華はあるけれど、とても大変で、私に向いているか不安になりました。キャビンアテンダントも難しい仕事であるけれど、なってみるとも思いました。航空関係のことを何も知らなかったことで、この機会にたくさんのお話を学ぶことができてよかったです。これからもっと勉強し、将来の夢が実現できるようにしていきたいです。

6 おわりに

今回の修学旅行は、キャリア教育の「課題対応能力の育成」を中心に位置づけて活動を進めてきた。情報の収集・活用の仕方、レポートのまとめ、発表など、3年間を計画的に、継続的に活動することの大切さを改めて実感した。

修学旅行は生徒にとって思い出深い大切な行事である。その場所が味わうことのできない感動や喜び、そこでこそ追究できる学びは何かを明確にして、有意義な活動となるよう今後も研鑽を図っていききたいと思う。

5 事後の活動

事前学習及び施設での見学・体験を通して分かったことを、中間報告書を活用しながらレポートにまとめさせた。その後、レポート